

国連グローバル・コンパクト

イオン(株)は2004年9月、日本の小売業としては初めて国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に参加することを表明いたしました。世界の企業に「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野で世界的に確立された10原則を支持し、実践するよう促すプログラムです。社会からの要求事項に常に向き合って「イオンサプライヤーCoC」「SA8000」を推進していきます。

2008年はグローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークにてサプライチェーン分科会に参加し、メンバー企業と各社のサプライチェーンマネジメントの取組みについて、継続的に議論を続けています。

「グローバル・コンパクト」の10原則

「グローバル・コンパクト」は、各企業に対して、それぞれの影響力の及ぶ範囲内で、人権、労働基準、環境に関して、国際的に認められた規範を支持し、実践するよう要請しています。その狙いは、各企業がそれぞれの事業を遂行する中で、これらの規範を遵守し、実践することを通じて、世界に積極的な変化をもたらすことです。その原則は以下の通りです。(2004年6月に腐敗防止に関する原則が追加され、現在10原則となっています。)

<人権 企業は、>

- 原則1. 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
- 原則2. 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

<労働基準 企業は、>

- 原則3. 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
- 原則4. あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
- 原則5. 児童労働の実効的な廃止を支持し、
- 原則6. 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

<環境 企業は、>

- 原則7. 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
- 原則8. 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
- 原則9. 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

<腐敗防止 企業は、>

- 原則10. 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

(2008年7月、日本語訳の改訂)

環境・社会報告書 グローバル・コンパクト ステートメント

グローバル・コンパクトは、国連が初めて、直接、企業に対して提唱したもので、企業が市民社会の一員としての役割を果たす「自発的なイニシアチブ」であります。

イオンは、企業戦略や企業運営に取り込み、多様なステークホルダー間の協力とパートナーシップにより、問題解決を図っていくとしたグローバル・コンパクトのメカニズムを取り入れ、国際基準SA8000などの内容をベースに作成した「イオンサプライヤーCoC(取引行動規範)」を2003年に制定しました。

この「イオンサプライヤーCoC(取引行動規範)」は、プライベートブランド商品の製造委託先企業を通じて、グローバルな生産過程に携わる世界各国の製造委託工場とともに、人権・労働基準・環境・腐敗防止について、継続的改善が図れるように、監査・評価システムを導入し、取り組んでまいりました。2008年度で、製造委託先工場の第三者監査・評価の結果、認証取得したCoC認証工場も、700工場を超え、着実に継続的に改善活動が進んでいます。2009年度には、CoC認証工場も、900工場をめざして、取り組んでまいります。

また、2008年は、グローバル・コンパクトのローカル・ネットワークにて、グローバル・コンパクトの10原則の実行や情報交換、相互学習を月1回の「サプライチェーン分科会活動」に参加し、メンバー企業11社とともに取り組んでまいりました。

今後も、グローバル・コンパクトの目標と達成のためのメカニズムを活用し、責任ある創造的なリーダーシップを発揮し、社会の良き一員として行動してまいります。



イオン株式会社
グループ環境最高責任者

土谷美津子